※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地理総合　（実教出版） 新詳高等地図　（帝国書院）						
副教材等	新編フォトグラフィア地理図説　（東京法令出版） 地理総合演習ノート　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は，持続可能な社会づくりを目指し，環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する科目として新たに設置された科目です。グローバルな視座から国際理解や国際協力のあり方を，地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察することと，地図や地理情報システム（Geographic Information System 以下，GIS と略す）などを用いることで，汎用的で実践的な地理的技能を習得することをめざします。

２　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり， 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	・球面と平面 ・緯度と経度 ・日常生活のなかの地図 ・国家の領域 ・日本の位置と領域 ・国家間の結び付き ・モノ・人・情報のグローバル化 ・世界の交通，物流と日本 ・観光のグローバル化	a:現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 b:現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:世界や地域の諸事象について，地図や地理情報システムを用いて課題を主体的に追究し，多面的･多角的な考察を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	小テスト 定期考査 演習ノート	小テスト 定期考査 演習ノート	活動観察 レポート， 口頭発表
	自然環境と生活文化	・地形と生活文化 ・気候と生活文化	a:地形の特徴の違いと人々の生活文化との関わりについて理解できている。 b:それぞれの地形の特徴と人々の生活文化との関わりについて多面的･多角的に考察し，レポート等にまとめるなど適切に表現している。 c:地形条件や地形の開発などによって生じる生活上の課題について主体的に追究し，その解決策を意欲的に考察･構想しようとしている。	小テスト 定期考査 演習ノート	小テスト 定期考査 演習ノート	活動観察 レポート， 口頭発表
2学期	宗教に基づいた生活文化	・ヒンドゥー教と結び付く生活文化（南アジア） ・イスラームと結び付く生活文化（西アジア・北アフリカ）	a: 宗教と結び付いた社会の成立過程を理解している。 b: 宗教と結び付きの深い国々の特徴についてまとめ，表などで適切に表現している。 c:宗教と社会生活の関連について主体的に追究し，課題の解決策を意欲的かつ主体的に考察･構想しようとしている。	小テスト 定期考査 演習ノート	小テスト 定期考査 演習ノート	活動観察 レポート， 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	国家・民族・言語の結び付きと生活文化	・国家の統合と生活文化（ヨーロッパ） ・国家の拡大・変容と生活文化（ロシアと周辺諸国）	a:世界の民族分布の特徴を，地図から読み取ることができている。 b:言語が異なる民族間で生じている様々な問題や課題について多面的・多角的に考察し，レポートや発表等で適切に表現している。 c:地域統合による人々の生活の変化について主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 演習ノート	小テスト 定期考査 演習ノート	活動観察 レポート， 口頭発表
	移民とともに形成された生活文化	・移民国家の形成と生活文化（北アメリカ） ・移民による多文化社会の形成と変容（ラテンアメリカ） ・先住民と移民による多文化社会の発展（オセアニア）	a:移民により多文化社会が形成されてきたことに着目できている。ラテンアメリカへの移民流入の歴史を理解している b:移民国家が形成された歴史的背景を理解している。ラテンアメリカで人種・民族の融合が進んだ理由について多面的・多角的に考察し，レポート等で適切に表現している。 c:移民の生活文化とそれに対する誤解や差別といった問題についてレポートにまとめるなど，適切に表現している。移民との関わりにより進展した大規模農業や産業の発展と地球規模の課題について主体的に追究し，持続可能な社会へ向けた課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査 演習ノート	小テスト 定期考査 演習ノート	活動観察 レポート， 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

３学期	地球的課題と国際協力	・人口問題の展開と対策 ・アンバランスな人口分布 ・食料問題の要因と解決に向けた課題 ・食料問題への取り組み ・都市・居住問題 ・エネルギー資源の開発と限界 ・新たなエネルギー資源への取り組み ・地球環境問題：地球温暖化 ・様々な場所で発生する地球環境問題 ・地球的課題の解決に向けた国際協力	a:世界各地で見られる諸問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 b:世界各地で見られる諸課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに，そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ，自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察･構想しようとしている。	小テスト 定期考査 演習ノート	小テスト 定期考査 演習ノート	活動観察 レポート， 口頭発表
	持続可能な地域づくりと私たち	・自然災害と防災 ・地域調査	a:我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 b:地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:自然災害や防災・減災への興味･関心を強く持つとともに，自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 演習ノート	小テスト 定期考査 演習ノート	活動観察 レポート， 口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度